

岸田総理基調講演（抄）  
（令和4年5月5日 ロンドン・シティ）

今日は、私が提唱する経済政策、特に新しい資本主義についてお話ししたいと思います。私からのメッセージは一つです。「日本経済は、これからも、力強く成長を続ける。安心して、日本に投資して欲しい。」、Invest in Kishidaです。

もちろん、日本には多くの課題があります。私は、この解決のため、先頭に立って真正面から改革を進める覚悟です。

地政学的リスクの在り様が大きく変化し、サプライチェーンの組替えや、資源・エネルギーの調達や供給の在り方が想像しない形で変わる不安定な時代です。だからこそ、日本の安定性が強みになります。

成長を続け、しかも安定している日本市場、安全・安心な日本企業・製品・サービスは買いたと申し上げます。

（中略）

こうした経験から、私は、最近の総理大臣の中では、最も経済や、あるいは金融の実態に精通した人間だと自負しており、これからもマーケットの声、現場の声をよく聞き、政策を進めてまいります。

その際大切なことは、日本は、これまでも、そしてこれからも、世界に開かれた貿易・投資立国であり続けるということです。世界とつながり、世界とヒト、モノ、カネ、デジタルが自由に往来することで、日本は成長していきます。

昨年末、オミクロンの世界的拡大を受けて水際対策を強化しましたが、それは、国内への流入をできるだけ遅らせ、医療提供体制確保やワクチン接種を進めるために必要なことでした。お陰様で世界的に見ても、日本のコロナ対応は成功しています。

現在では、大幅な緩和を実現し、6月には、他のG7諸国並みに円滑な入国が可能となるよう水際対策を更に緩和していきます。

英国が、古くから、そして、近年では、ここシティを中心に国際金融の一大拠点として、世界とつながることで、繁栄してきたように、同じ海洋国家である日本も、世界とつながることが、発展のための必要条件であると確信しています。

こうした考えの下、日本は近年、世界で最も、自由貿易を推進してきた国です。昨年、日英EPA（経済連携協定）を発効させ、今正に、手続きが進んでいる英国のTPP（環太平洋パートナーシップ）加盟を強く支持しています。

日本は、今後とも世界に対してオープンです。是非、日本にお越しく下さい。最大限のおもてなしをいたします。